



小岩四中だより

自主 品位 明朗 友愛

ひとすじの光

教育目標

明るく、心身ともに健やかで
ひとりだちのできる心豊かな人間になろう

令和8年度 第3号

令和8年6月3日 発行

江戸川区立小岩第四中学校長 村松 弘一

大きな飛躍に向かって！

校長 村松 弘一

運動会当日は、どの学年の種目でも、生徒一人一人がもてる力を思いっきり発揮し、仲間と心をつなげて取り組む姿が輝いていました。スタートの合図とともに力強く走り出す姿、ゴールを駆け抜けたあとに、仲間と笑顔进行を交わす姿が、運動会を温かい空気で満たしていました。グラウンドには、真剣な表情と笑顔、そして温かな拍手にあふれ、まさに本校の良さが凝縮された一日となりました。御来校いただき、ありがとうございました。

今年のスローガン「**風闘不屈～繋がる絆 一つになって風を切れ～**」は、まさに今回の運動会を象徴する言葉となりました。個人種目、学年種目やリレーなど、あらゆる場面で、生徒の皆さんはこのスローガンを胸に、一人一人の良さを輝かせていました。体育委員とソーランリーダーを中心に、「声を合わせる」「力を合わせる」「心を合わせる」という、光のように明るいエネルギーがグラウンド全体を包み込んでいました。特に、最上級生である3年生のリーダーシップは実に見事なものでした。下級生を力強くけん引し、自らの行動で小岩第四中学校の伝統と誇りを示してくれた姿は、後輩たちの心に深く刻まれたはずで

す。体育委員以外にも、係活動に取り組んだ生徒の活躍も、運動会を支える大きな力となりました。用具の準備や片付け、アナウンスや招集・誘導、得点の集計など、それぞれの場面で役割を自覚し、ときばきと裏方として黙々と動く姿のどれもが、運動会を円滑に進行させる力となりました。本校の運動会は、体育委員・ソーランリーダーを中心に、よい演技ができるよう考えたり、指示を出したり、全校生徒で作り上げる、生徒主体の素晴らしい運動会となりました。

今回の運動会で得た達成感や、仲間と支え合う心は、学習や部活動、生徒会活動など、様々な場面につながっていきます。「一人一人が、次はここを伸ばしてみよう」と前向きな目標をもち、新たな一歩を踏み出してくれることを期待しています。

大きな行事を終えた今、学校は「動」から「静」の日常に戻ります。これからは、運動会で培った「集中力」「協調性」「粘り強さ」を、日々の学習や部活動、生徒会活動など、様々な場面に向けていく時です。行事で高まったエネルギーを、今度は地道な日常の努力へと昇華させる。これこそが、次なる「ステップ」への確かな飛躍へとつながります

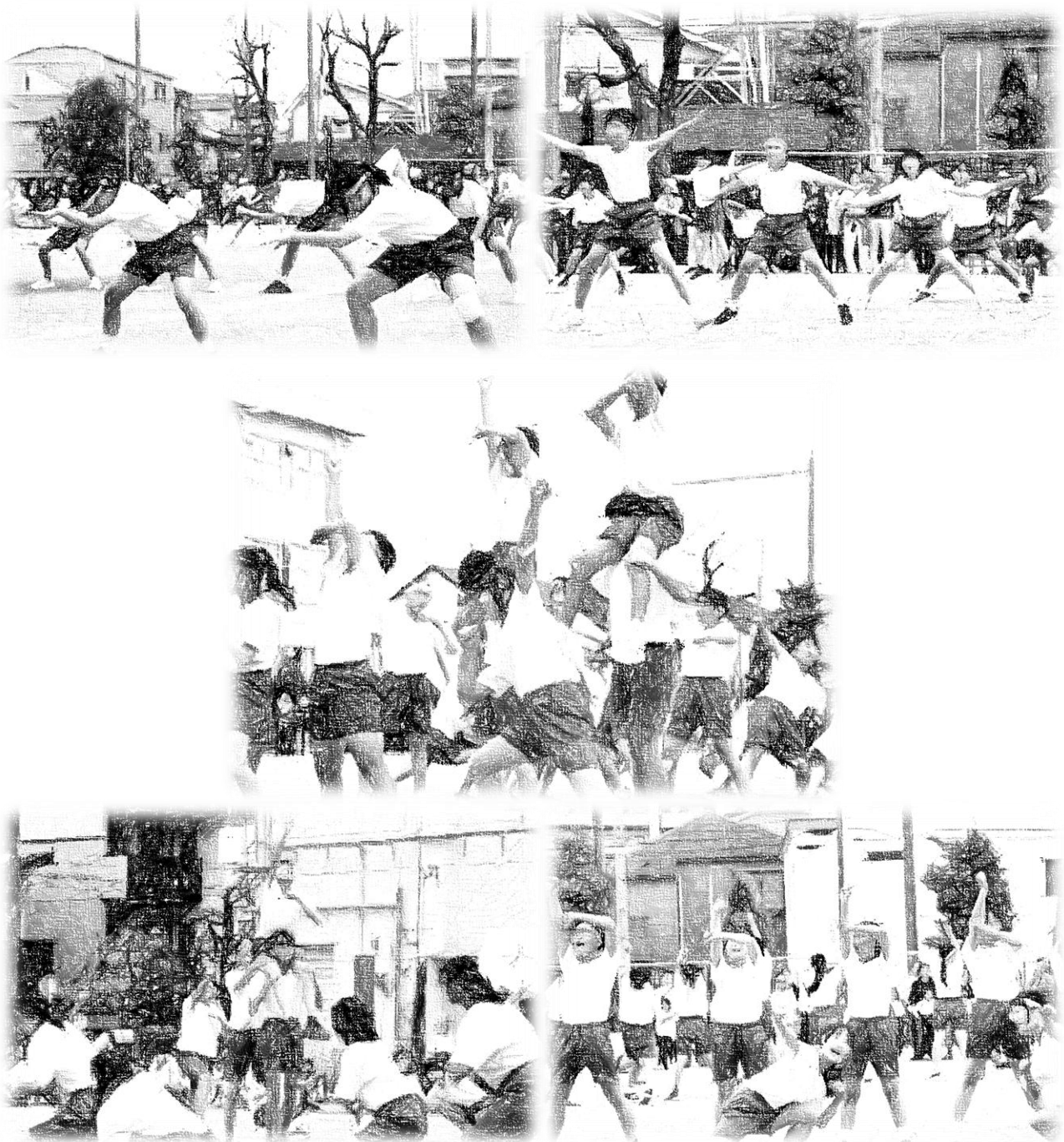
学校では、生徒たちが心地よい緊張感をもって次なる目標に進めるよう、教職員一同一丸となって指導にあたってまいります。御家庭におかれましても、お子様の頑張りを認め励ましていただくとともに、落ち着いた生活リズムへの切り替えをサポートしていただきますよう、よろしく願いいたします。

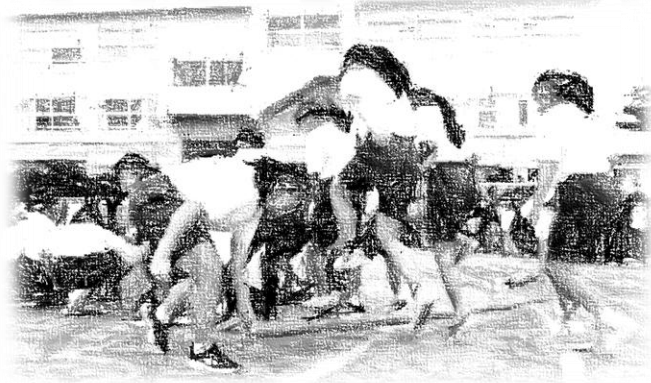
一口メモ：

運動会で行われるソーランの演技は、各国が200海里水域を定め日本の漁業が不況になった時代に、海で働く人々や地域を元気付けたいという願いのもと、民謡歌手の伊藤多喜雄さんがアレンジした「TAKIOのソーラン節」を土台に、北海道・稚内南中学校で生まれました。かつてのニシン漁の動きや漁師の誇りを表現するこの踊りは、海とともに生きてきた人々の思いを今に伝えています。



四中ソーラン





部活動保護者会

本校の部活動は、生徒が仲間と共に目標に向かって努力し、喜びや悔しさを分かち合う大切な学びの場です。また、責任感や協調性、粘り強さなどを育む貴重な機会であり、本校の特色でもあります。

一方で、教員の部活動指導は本来の勤務時間を超えることも多く、「生徒のため」という思いから、勤務時間外にも対応しながら支えているのが実情です。現在、教員の長時間勤務は社会的な課題となっており、個人の熱意だけに頼った部活動運営には限界が見えています。

教員が心身の健康を保ち、授業にしっかりと取り組むことが、生徒へのよりよい教育につながると考えております。そのため、部活動を将来にわたり持続可能なものとする必要があります。

保護者の皆様には、本校のこうした考えを御理解いただき、ガイドライン・部活動指針に基づく適切な休養日や活動時間の設定について、御理解と御協力をお願いいたします。

教育講演会

5月8日(土)の午後、シルク・ドゥ・ソレイユの現役アーティストでいらっしゃる江上駿祐さんを講師にお招きして、「自分らしく生きる」をテーマに講演会を行いました。

＜オープニングのパフォーマンスでの様子＞

普段とは異なる隊形で体育館に座ると、照明が落ち、動画が流れた。少しざわつき始めた頃、講師が登場。舞台メイクやアクロバット



で、彼の世界観に一気に飲み込まれる生徒たち。手が届きそうな距離で繰り広げられたパイプ椅子の上での倒立、ブレイクダンス、連続のアクロバット…全身を使った唯一無二のパフォーマンスを観て、自然と歓声や拍手が沸き起こり、笑顔がこぼれていた。

江上さんの人生を振り返りながら、「1%の存在を偽り続けていくと、いつか自分自身になること」、「選ばれる人になること」などについて考えました。自分もまだまだ挑戦者、夢に向かって一緒に走っていかうと約束してくださいました。四中生一人ひとりが夢を叶えられるように、教員一同応援しています。

6月行事予定

日	曜	行 事	授業形態	日	曜	行 事	授業形態
1	月	Study Week 始 日本語初期指導始	平常	16	火		平常
2	火		平常	17	水	定期考査	特別
3	水	身体計測・体力テスト	平常	18	木	定期考査	特別
4	木	専門委員会	平常 ⑥カット	19	金	定期考査 セーフティ教室	特別
5	金	中央委員会	短縮	20	土		
6	土			21	日		
7	日	Study Week 終		22	月	領域診断テスト(3)	平常
8	月	生徒会朝礼 脊柱そくわん検診(1) 教育実習終	平常	23	火		平常
9	火		短縮	24	水	職員会議 総会リハ	平常
10	水	区中研(教科)	短縮 ⑤カット	25	木	生徒総会	①～⑤ 短縮
11	木	避難訓練	短縮	26	金		平常
12	金	進路説明会(3)	平常	27	土	夏季総体終	
13	土	科学教育センター開室式		28	日		
14	日			29	月		平常
15	月	朝礼 水泳指導始 安全指導	平常	30	火	定期健康診断終	平常